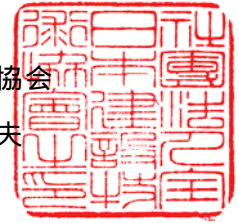


全建発第21～147号
平成21年 8月24日

（機関管理者） 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 松 田 芳 夫



第554回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約7万3千名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術関係職員の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、私ども公共事業に携わる建設技術者は、依然として厳しい財政状況の中、リスク及び危機管理、環境の保全、都市・地域の再生、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的維持管理など多くの課題に取り組みながら、これらの要請に応えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第554回建設技術講習会では、道路行政、港湾行政・漁港行政に共通する課題として、防災対策、環境保全・景観整備、地域の活性化等について学ぶとともに、道路については、道路政策の今後の方向性、道路事業評価の実施、道路交通における安全対策、維持管理の展望など、港湾・漁港については、港湾・海岸・漁港行政等に係る防災対策・環境等の施策、国際拠点港湾の機能強化等の施策、港湾施設の維持管理方策、港湾施設を核とした地域活性化などについての最新の施策や技術情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬具

全建発第20～330号
平成21年1月21日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 前 川 秀 和

(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成21年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、現在、我が国においては「安全・安心で豊かな社会づくり」、「地球環境時代に対応した暮らしづくり」、「地域の活力と成長力の強化」等、大規模災害や地球温暖化また地域活力低下などへの対応が強く求められています。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、依然として厳しい財政状況の中、リスク及び危機管理、環境の保全、都市・地域の再生、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的維持管理など多くの課題に取り組みながら、これらの要請に応えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成21年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。 敬具

地 方 協 会 長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 松 田 芳 夫



第554回建設技術講習会(道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題)開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成21年10月28日(水)～30日(金)、熊本市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、道路行政、港湾行政・漁港行政に共通する課題として、防災対策、環境保全・景観整備、地域の活性化等について学ぶとともに、道路については、道路政策の今後の方向性、道路事業評価の実施、道路交通における安全対策、維持管理の展望など、港湾・漁港については、港湾・海岸・漁港行政等に係る防災対策・環境等の施策、国際拠点港湾の機能強化等の施策、港湾施設の維持管理方策、港湾施設を核とした地域活性化などについての最新の施策や技術情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は、熊本県・熊本市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員..... 9,600 円〔昼食の斡旋なし〕
正会員(地元〔熊本県内〕)..... 1,500 円〔 " 〕
非会員..... 14,600 円〔 " 〕
「正会員(地元)」とは、開催地(熊本県)内に勤務の「正会員」のみ
聴講のみの参加は可能です

現 場 研 修 料：..... 7,800 円〔うち昼食代1,200 円〕

現場研修のみの参加はできません

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の(写)〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

申込書送付先：(社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.dion.ne.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-13 昭栄赤坂ビル 7F
TEL: 03(3585)4546 FAX: 03(3586)6640

振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：(社)全日本建設技術協会

お振込の際必ず、お振込人名義の前に、開催回数の「554」をつけ加えて下さい。

申 込 締 切 日：平成21年10月9日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

申込の取り消しについては下記のように処理いたします。なお、講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。

平成21年10月16日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成21年10月23日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記 を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

この講習会は、(社)全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度(CPDS)」の認定講習会として単位が取得できます。(会場で継続学習制度(CPDS)についての案内を配布します。)

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

主催：(社)全日本建設技術協会、熊本県、熊本市 後援：国土交通省

第554回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題） 日程

～安全で快適な暮らしの実現と地域活力の向上に向けて（道路行政、港湾・漁港行政における施策の展開と技術情報）～

- 道路行政、港湾行政・漁港行政に共通する課題として、防災対策・環境保全・景観整備、地域の活性化等について学ぶとともに、道路については、道路政策の今後の方向性、道路事業評価の実施、道路交通における安全対策、維持管理の展望など、港湾・漁港については、港湾・海岸・漁港行政等に係る防災対策・環境等の施策、国際拠点港湾の機能強化等の施策、港湾施設の維持管理方策、港湾施設を核とした地域活性化などについての最新の施策や技術情報を得る -

会場 【合同 / (2日)道路】熊本県立劇場（演劇ホール）
【(2日)港湾・漁港】 " (大会議室)

〒862-0971 熊本市大江 2-7-1 TEL096-363-2233(代)

1日目 平成21年10月28日(水) 【合同】演劇ホール (敬称略)			
10:00 い	あいさつ	熊本県知事	蒲 島 郁 夫
10:20 い	"	熊本市長	幸 山 政 史
10:20 い 11:50	いま社会資本に何が求められているのか ～地球環境の保全、地域力・国民力の強化、 社会資本の安全と品質～	土木学会計画学研究小委員会 委員 (鹿島建設株式会社 土木設計本部 設計技術部 担当部長)	吉 田 正
13:00 い 14:30	国づくりと社会資本整備	東京都市大学工学部都市工学科 教授 (財団法人 港湾空間高度化環境研究センター)	高 松 亨
14:40 い 15:40	【特別講演】 古写真に探る 熊本城と城下町	熊本市文化財専門相談員	富 田 紘 一
15:50 い 16:20	【地域事業の紹介】 松合漁港漁業集落環境整備事業等について	宇城市経済部農林水産課 水産建設係長	元 田 智 士
16:20 い 16:50	【地域事業の紹介】 熊本駅周辺整備事業について	熊本県土木部都市計画課 土木審議員兼新幹線都市整備室長	松 永 信 弘
2日目 10月29日(木) 【道路部門】演劇ホール (敬称略)			
9:40 い 10:40	今後の道路行政について ～公団民営化・一般財源化後の道路行政の方向性～	国土交通省道路局企画課 道路経済調査室 企画専門官	河 南 正 幸
10:50 い 11:50	道路事業評価に関する最近の話題	国土交通省道路局企画課 道路事業分析評価室 企画専門官	山 本 悟 司
13:00 い 14:00	直轄国道の管理の将来ビジョン ～本格的な維持・更新の時代に備えて～	国土交通省道路局国道・防災課 企画専門官	森 戸 義 貴
14:10 い 15:10	交通安全施策を巡る最近の動向 ～新たな交通安全施策について～	国土交通省道路局地方道・環境課 道路交通安全対策室 企画専門官	富 樫 篤 英
15:10 い	閉会のあいさつ	熊本県建設技術協会長 (熊本県土木部長)	松 永 卓
地域の独自調査			
2日目 10月29日(木) 【港湾・漁港部門】大会議室 (敬称略)			
9:40 い 10:40	港湾を核とした地域振興	国土交通省港湾局振興課 専門官	井 上 岳
10:50 い 11:50	国際競争力の強化を図る港湾物流政策に ついて	国土交通省港湾局計画課企画室 課長補佐	松 良 精 三
13:00 い 14:00	港湾における大規模災害対策について	国土交通省港湾局海岸・防災課 災害対策室 課長補佐	苔 口 聖 史
14:10 い 15:10	漁港漁場行政の最近の動向	水産庁漁港漁場整備部計画課 課長補佐	内 山 裕 三
15:10 い	閉会のあいさつ	熊本市建設技術協会長 (熊本市都市建設局技監)	有 働 幸 正
地域の独自調査			

【現場研修】3日目 10月30日(金)

熊本城二の丸駐車場(8:30)出発

- 熊本城復元整備事業(下車説明)
- 九州新幹線熊本総合車両基地建設事業(車窓)
- 松合漁港漁業集落環境整備事業等(下車説明)
- 熊本空港(15:45)/熊本交通センター(16:40)/JR熊本駅(16:55)着後解散

解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

CPDS学習プログラム認定講習会

第554回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 熊本城復元整備事業

本計画は、加藤清正が築城した98haの熊本城城郭全体を対象に、往時の姿に復元整備することを目指しています。

整備内容が広範囲かつ多岐にわたり、また莫大な事業費を要する計画のため、城域を本丸（保存・復元ゾーン）、二の丸（緑の遊園ゾーン）、三の丸（歴史・学習体験ゾーン）、古城（観光客のエントランスゾーン）、千葉城（文化交流ゾーン）の5つのゾーンに区分し整備を進めています。

計画は短期・中期・長期に分けて整備を進めており、短期計画は、築城400年にあたる平成19年（2007年）に終了しています。また、本丸御殿（ほんまるごてん）をはじめ、西出丸（にしでまる）の堀、戌亥櫓（いぬいやぐら）、元太鼓櫓（もとたいこやぐら）、奉行丸（ぶぎょうまる）の堀、未申櫓（ひつじさるやぐら）、南大手門（みなみおおてもん）など熊本城への登城ルートの歴史的建造物の復元を終了しました。中期整備としては、百間櫓（ひゃっけんやぐら）や数奇屋丸五階櫓（すきやまろごかいやぐら）、北大手櫓門（きたおおてやぐらもん）等の復元を進めていきます。

…………… 熊本市二の丸



2 熊本駅周辺整備事業

J R熊本駅は明治24年に鉄道が開通してから陸の玄関口として大きな役割を担ってきました。しかし、駅周辺地域は鉄道により地域が分断され、道路等の基盤整備も不十分なため、人口の減少と周辺商業も衰退し、主要な拠点としての機能を果たしていませんでした。そこで、都市構造を一点集中型から多角的市街地構造へ転換を図り、駅周辺地区を「副都心」と位置づけ、都市機能を補完する拠点づくりを進めました。九州新幹線鹿児島ルート建設、J R鹿児島本線等鉄道高架化をはじめ熊本駅周辺地域等の整備は、県市の発展に欠かせない重要な事業として平成9年に「J R鹿児島本線等鉄道高架化及び熊本駅周辺地域等の整備に関する協定」を県市で締結し、相互に連携・協力し計画的に取り組んできました。このような中、新幹線開業時期が前倒しされ、鉄道高架化区間の延長、熊本合同庁舎の熊本駅周辺への移転が決定されるなど状況に変化が生じたため、平成17年6月に県と市で「熊本駅周辺地域整備基本計画」を策定。各ゾーンに分けて整備を行い、熊本の自然や歴史を活かしながら重要な交通結節点としての機能を高め、活気が溢れ人にやさしいまちづくりを目指した整備を進めています。

…………… 熊本市春日



3 松合漁港漁業集落環境整備事業等

平成11年9月24日午前5時30分ごろ、台風18号に伴う高潮により、松合漁港の背後集落では、死者12名、冠水戸数60戸という甚大な被害を受けました。その復興にあたり、国、県、町、学識経験者でつくる「松合漁港高潮対策検討会」を中心に、防災・環境・利用を考えた総合的復興指針が策定されました。特に、災害からの不安解消からも地元住民の強い要望もあり、早急な事業着手が望まれていました。しかし、漁業集落環境整備事業で家屋が残っている地盤の嵩上げをした事例はほとんどありませんでした。松合漁港の場合は、高潮が来襲した場合、背後に逃げ道が確保されておらず特殊な地形を形成している実態に鑑み地盤の嵩上げをすることが一番望ましいと判断されました。

平成15年9月に松合地区の防潮水門、続いて船溜まり部の護岸嵩上げ整備が完成し、さらに平成16年9月には救の浦地区の防潮水門が完成し、被災から5年という短期間において松合地区、救の浦地区の防災機能が格段に上がり、その結果、平成16年に来襲した台風の際も防潮水門を閉鎖することにより、背後集落地の高潮に対する安全が確保されました。なお本事業は平成16年度に全建賞を受賞しています。

…………… 宇城市不知火町



第554回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊料金：宿泊希望者には熊本市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
送金先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店
 銀行口座 三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金口座№1015114
 お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「554」を付け加えて下さい。
問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 FAX 03-3272-3169
 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル6階）
 「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成21年10月19日(月)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成21年10月20日(火)～26日(月)までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舍名、宿泊料

平成21年10月27日(火),28日(水),29日(木) (1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

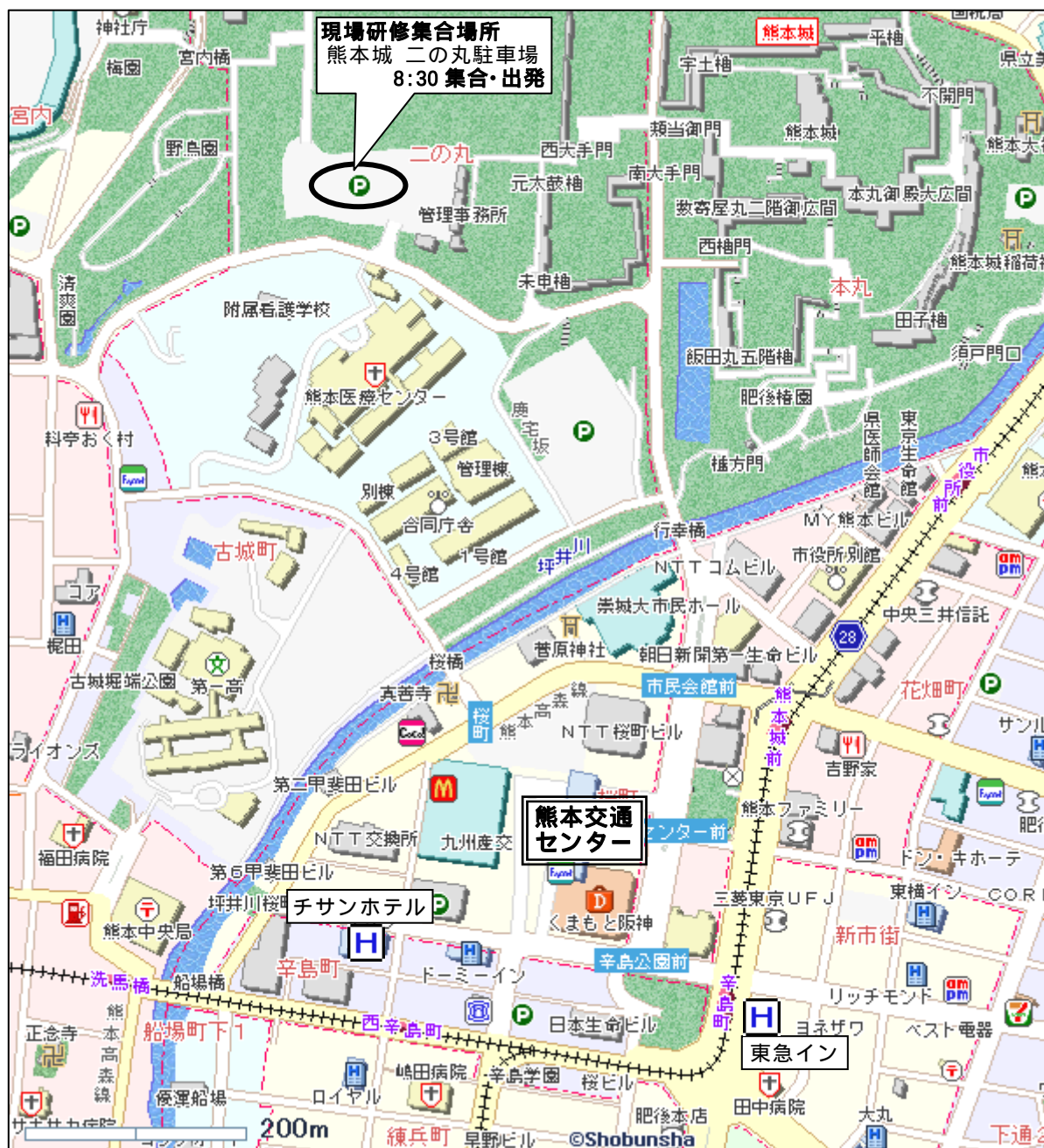
宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
熊本東急イン	熊本市新市街 7-25 TEL: 096-322-0109	シングル	30名	7,700円
チサンホテル熊本	熊本市辛島町 4-39 TEL: 096-322-3911		30名	7,700円
宿泊斡旋人数合計			60名	

宿舍が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。
 また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



宿舎・現場研修集合場所 詳細図



講習会場「熊本県立劇場」までのご案内（ ）

- 熊本空港よりバス40分 → 熊本交通センター → バス15分（水前寺駅北口行 12番のりば）
- J R 水前寺駅よりバス4分（城西校行 NTT病院・交通センター経由）

詳しくは熊本県立芸術劇場のホームページをご覧ください。

アドレス：<http://www.kengeki.or.jp/access/>

現場研修集合場所「熊本城 二の丸駐車場」について（お願い）

熊本交通センターより現場研修集合場所（熊本城二の丸駐車場）まで徒歩15分程度かかります。集合場所へは余裕を持ってお越し下さい。

第554回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意ください。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄にA～Cを記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行㈱宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 「全建担当デスク」

【往路】10月27日（火）講習会前日の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
A	羽 田 → 熊 本 16:35 18:15	A N A 6 4 7 (全日空)	2 0 席	15,500 円

【復路】10月29日（木）聴講終了後の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
B	熊 本 → 羽 田 19:00 20:35	A N A 6 4 8 (全日空)	1 0 席	16,500 円

【復路】10月30日（金）現場研修終了後の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
C	熊 本 → 羽 田 16:40 18:15	J A L 1 8 1 4 (日本航空)	3 5 席	16,500 円

- ・上記代金には、旅客施設使用料（羽田1区間100円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約40分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、50分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機の時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道1席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭 乗 区 間	10/10～10/15 に取消した場合	10/16～10/26 に取消した場合	10/27以降便出発迄に取消した場合
A, B, C	羽 田 ← → 熊 本	3,000 円	6,000 円	9,000 円

- ・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

2会場となりますので、聴講者別の欄は
お間違えのないよう記入願います。

平成21年 月 日

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名)

第554回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別				現場研修	宿泊申込			航空便申込		
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○囲みして下さい)	年齢		正会員		非会員			予約日に○を記入して下さい			A～Cを記入		
			道路	港湾	道路	港湾		往路	復	復	往路	復	復
								10月27日	28日	29日	10月27日	29日	30日
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
聴講料 正会員・特別会員・賛助会員 名×9,600円＝ 円 正会員(地元) 名×1,500円＝ 円 正会員(地元)とは、開催地(熊本県)内に勤務の「正会員」 円 非会員 名×14,600円＝ 円 現場研修料 名×7,800円＝ 円 計 円								↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません 宿泊予約金 泊×4,000円 円 航空便 往路 名× 円 復路 名× 円 計 円					

↓ 全建に振込

↓ 西鉄旅行(株)に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕
お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール(FAX)にてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。

〔聴講時の昼食について〕

昼食の斡旋はありません。

〔現場研修時の昼食について〕

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。